

平成 30 年度の水質検査項目及び検査頻度

水質基準項目の検査

番号	項目	水道水質基準値 mg/l以下	給水栓における 法定検査頻度	検査実施頻度			備考	
				原水※1	浄水※2	給水栓		
基 01	一般細菌	100 個/ml	月 1 回	年 4 回	年 12 回	年 12 回	病原生物	
基 02	大腸菌	検出されないこと		年 4 回	年 12 回	年 12 回		
基 03	カドミウム及びその化合物	0.003	年 4 回	年 4 回	年 4 回	年 4 回	重金属	
基 04	水銀及びその化合物	0.0005		年 4 回	年 4 回	年 4 回		
基 05	セレン及びその化合物	0.01		年 4 回	年 4 回	年 4 回		
基 06	鉛及びその化合物	0.01		年 4 回	年 4 回	年 4 回		
基 07	ヒ素及びその化合物	0.01		年 4 回	年 4 回	年 4 回		
基 08	六価クロム化合物	0.05		年 4 回	年 4 回	年 4 回		
基 09	亜硝酸態窒素	0.04		年 4 回	年 4 回	年 4 回		
基 10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01		年 4 回	年 4 回	年 4 回		
基 11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10		年 4 回	年 4 回	年 4 回		無機物質
基 12	フッ素及びその化合物	0.8		年 4 回	年 4 回	年 4 回		
基 13	ホウ素及びその化合物	1.0	年 4 回	年 4 回	年 4 回	年 4 回	一般有機 化学物質	
基 14	四塩化炭素	0.002		年 4 回	年 4 回	年 4 回		
基 15	1,4-ジオキサン	0.05		年 4 回	年 4 回	年 4 回		
基 16	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04		年 4 回	年 4 回	年 4 回		
基 17	ジクロロメタン	0.02		年 4 回	年 4 回	年 4 回		
基 18	テトラクロロエチレン	0.01		年 4 回	年 4 回	年 4 回		
基 19	トリクロロエチレン	0.01		年 4 回	年 4 回	年 4 回		
基 20	ベンゼン	0.01		年 4 回	年 4 回	年 4 回		
基 21	塩素酸	0.6		—	年 4 回	年 4 回		消毒 副生成物
基 22	クロロ酢酸	0.02		—	年 4 回	年 4 回		
基 23	クロロホルム※3	0.06	—	年 4 回	年 4 回			
基 24	ジクロロ酢酸	0.03	—	年 4 回	年 4 回			
基 25	ジブロモクロロメタン※3	0.1	—	年 4 回	年 4 回			
基 26	臭素酸	0.01	—	年 4 回	年 4 回			
基 27	総トリハロメタン※3	0.1	—	年 4 回	年 4 回			
基 28	トリクロロ酢酸	0.03	—	年 4 回	年 4 回			
基 29	ブロモジクロロメタン※3	0.03	—	年 4 回	年 4 回			
基 30	ブロモホルム※3	0.09	—	年 4 回	年 4 回			
基 31	ホルムアルデヒド	0.08	—	年 4 回	年 4 回	色		
基 32	亜鉛及びその化合物	1.0	年 4 回	年 4 回	年 4 回			
基 33	アルミニウム及びその化合物	0.2	年 4 回	年 4 回	年 4 回			
基 34	鉄及びその化合物	0.3	年 4 回	年 4 回	年 4 回			
基 35	銅及びその化合物	1.0	年 4 回	年 4 回	年 4 回			
基 36	ナトリウム及びその化合物	200	年 4 回	年 4 回	年 4 回	味覚		
基 37	マンガン及びその化合物	0.05	年 4 回	年 4 回	年 4 回	色		
基 38	塩化物イオン	200	月 1 回	年 4 回	年 12 回	年 12 回	味覚	
基 39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300	年 4 回	年 4 回	年 4 回	年 4 回		
基 40	蒸発残留物	500		年 4 回	年 4 回	年 4 回		
基 41	陰イオン界面活性剤	0.2		年 4 回	年 4 回	年 4 回	発泡	
基 42	ジェオスミン	0.00001	藻類発生時期	年 4 回	年 12 回	年 12 回	臭い	
基 43	2-メチルイソボルネオール	0.00001	に月 1 回	年 4 回	年 12 回	年 12 回		
基 44	非イオン界面活性剤	0.02	年 4 回	年 4 回	年 4 回	年 4 回	発泡	
基 45	フェノール類	0.005		年 4 回	年 4 回	年 4 回	臭い	
基 46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3	月 1 回	年 4 回	年 12 回	年 12 回	味覚	
基 47	pH値	5.8~8.6		年 4 回	年 12 回	年 12 回	基礎的 性状	
基 48	味	異常でないこと		—	年 12 回	年 12 回		
基 49	臭気	異常でないこと		年 4 回	年 12 回	年 12 回		
基 50	色度	5 度以下		年 4 回	年 12 回	年 12 回		
基 51	濁度	2 度以下		年 4 回	年 12 回	年 12 回		

※1 深井戸原水は年 2 回

※2 片浦地区は浄水ではなく、給水栓で実施

※3 高田浄水場浄水及び中河原、久野、新久野、諏訪原の各配水池管末では年 12 回の頻度で実施

水質管理目標設定項目の検査

番号	項目	目標値	検査実施頻度	
			高田浄水場 原水	給水栓
目01	アンチモン及びその化合物	0.02mg/ℓ以下	年4回	年1回
目02	ウラン及びその化合物	0.002mg/ℓ以下(暫定)	年4回	年1回
目03	ニッケル及びその化合物	0.02mg/ℓ以下	—	—
目05	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/ℓ以下	年4回	年1回
目08	トルエン	0.4mg/ℓ以下	年4回	年1回
目09	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.08mg/ℓ以下	年4回	年1回
目10	亜塩素酸	0.6mg/ℓ以下	—	年1回
目12	二酸化塩素	0.6mg/ℓ以下	—	年1回
目13	ジクロロアセトニトリル	0.01mg/ℓ以下(暫定)	—	年1回
目14	抱水クロラール	0.02mg/ℓ以下(暫定)	—	年1回
目15	農薬類	検出値と目標値の比の和として1以下	年2回 ^{※1}	年2回 ^{※2}
目16	残留塩素	1mg/ℓ以下	—	毎日365回
目17	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	10mg/ℓ以上100mg/ℓ以下	水質基準項目として実施	
目18	マンガン及びその化合物	0.01mg/ℓ以下	水質基準項目として実施	
目19	遊離炭酸	20mg/ℓ以下	—	年1回
目20	1,1,1-トリクロロエタン	0.3mg/ℓ以下	年4回	年1回
目21	メチル-tert-ブチルエーテル	0.02mg/ℓ以下	年4回	年1回
目22	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	3mg/ℓ以下	年4回	年4回
目23	臭気強度(TON)	3以下	年4回	年1回
目24	蒸発残留物	30mg/ℓ以上200mg/ℓ以下	水質基準項目として実施	
目25	濁度	1度以下	水質基準項目として実施	
目26	pH値	7.5程度	水質基準項目として実施	
目27	腐食性(ランゲリア指数)	-1程度以上とし、極力0に近づける	—	—
目28	従属栄養細菌	1mlの検水で形成される集落数が2,000以下(暫定)	年4回	年1回
目29	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/ℓ以下	年4回	年1回
目30	アルミニウム及びその化合物	0.1mg/ℓ以下	水質基準項目として実施	

※1 高田浄水場の原水は2回実施し、片浦地区の各湧水(2ヶ所)は1回実施

※2 高田浄水場の浄水のみ実施

その他検査必要項目

項目	検査実施頻度			
	原水		浄水	
	高田浄水場	各水源地 (片浦地区含む)	第二水源地 第三水源地	根府川第一水源地 根府川第二水源地
クリプトスポリジウム及びジアルジア	年6回	年4回 ^{※1}	年2回	年1回
クリプトスポリジウムの指標菌 (大腸菌及び嫌気性芽胞菌)	—	年4回 ^{※2}	—	—

※1 片浦地区の根府川第一水源地と根府川第二水源地で実施

※2 片浦地区の根府川第一水源地と根府川第二水源地は年8回

項目	検査実施頻度		
	浄水		給水栓
	高田浄水場	第二水源地 第三水源地	片浦地区 ^{※1}
放射性物質	年12回	年2回	年2回